



シルバーありだ川

公益社団法人
有田川町シルバー人材センター

〒643-0801
和歌山県有田郡有田川町徳田14番地5
電話 0737-52-4567
FAX 0737-52-4457
URL <http://webc.sjc.ne.jp/andagawa/>
Mail andagawa@sjc.ne.jp



会員拡大と就業率の向上をめざして



理事長 笹本 教導

会員の皆様には平素ご協力、ご支援を頂きありがとうございます。昨年末には沈静化していましたコロナウイルスが、新年早々爆発的な発生となり、和歌山県も過去にない感染状況となりましたが現在では減少に向かつており、一日も早く終息してほしいと願っています。幸い会員さん、役職員には感染者が無く、安堵しているところでもあります。しかし、変異を続けるウイルスは、感染力が強いとのことですので会員の皆様には、一層の感染予防対策を講じて頂きたいと思っております。

そんな中、令和3年度事業は会員皆様方のご協力のお陰でコロナ前の実績を上回り、請負派遣を併せて一億円になるうかと思う実績を上げることが出来ました。重ねて感謝申し上げます。さて、令和3年度の会員数は453名となっており、中長期計画の目標会員数535人には、まだまだ到達していないのが現状です。到達に至らない理由として一番多いのが高齢による退会です。また、雇用延長、定年延長等による新規加入の減少も会員拡大に繋がらない原因であります。次に新規加入者の加入形態を見てみますと会員さんよりの声かけ等で加入頂いた方々が最も多くなっています。会員拡大については、役職員も最大の努力をしておりますので、今後ともご紹介の程よろしくお願い致します。尚、就業率については、約34%と非常に少なくなっています。就業率を上げるには何をすれば良いかを役職員で考え、時代に即した新しい取り組み等、会員さんが就業しやすい環境を提供できるよう取り組んでまいります。最後にりましたが、会員皆様のご健康とご多幸をお祈りし挨拶と致します。

技能・安全・適正就業委員会からのお知らせ

委員長 佐々木 勝

有田川町シルバー人材センターの安全・適正就業基本目標

「傷害事故ゼロ」「賠償事故ゼロ」に努めましょう

令和 4 年 3 月末時点における事故件数は 6 件です。

幸いにも重篤となる事故はありませんでしたが、4 件が刈払い機による除草作業中に発生した物損事故であり、その多くが安全確認不足によるものと考えられます。

安全確認は「危険予知」です。人身事故を起こさないためにも『〇〇かもしれない』を念頭に取り組んでいただきますようお願いいたします。

特に、草刈り・剪定・伐採作業に機器類を使用する場合は、適正機器を使用し作業に適した服装・保護具類を着用し、安全最優先を心掛けてください。併せて規則正しい生活を心掛け、体調管理に努めてください。

また、高齢者による交通事故のニュースが数多く報道されており、会員の皆さんには日常生活における安全運転はもとより、就業における現場への往復についても、安全運転に努めてください。

★事故件数

年 度	会員数	事故件数	保険種別		備 考
			傷害	賠償	
令和元年度	481	5	4	2	入院 2 名・通院 2 名
令和 2 年度	444	3	3	0	入院 1 名・通院 2 名
令和 3 年度	453	6	2	4	通院 2 名

★令和3年度技能講習会の実績

講習会名	実施期間	日数	受講人員	内 容
刈払機講習会	7月21日(水)	1日間	8名	刈払機取扱い等
柑橘類摘果講習会	7月28日(水)	1日間	5名	極早生みかんの摘果
生活支援サービス従事者研修会	11月17日(水)	1日間	10名	生活支援技術等



刈払機講習



柑橘類摘果講習



★安全パトロール

実施場所	実施日	作業内容	指導事項等
愛宕山水道施設	6月1日(火)	草刈り	保護具の着用、飛散防止カバーの設置、熱中症対策等



1. 会員の推移

(単位：人・%)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
男 性	260	266	280	269	275
女 性	191	189	201	175	178
合 計	451	455	481	444	453
粗入会率	4.4	4.5	4.7	4.4	4.5

※ 会員拡大運動を進める中で役員・会員皆様のご協力により 3 年度は 36 人の新規入会者を得ることが出来、期首の会員数を上回ることが出来ました。しかし、近年は加齢・病気等で退会される方々が非常に多くなってきていますので、今後は今まで以上に新規入会者の獲得に努めなければならないと考えています。

2. 受託事業実績

(単位：件・千円・%・人)

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
件 数	1,533	1,648	1,685	1,528	1,614	
金 額	72,543	79,655	82,241	77,992	82,221	
公 共	金 額	25,816	24,275	25,504	25,202	26,207
	比 率	35.6	30.5	31.0	32.3	31.9
民 間	金 額	46,727	55,380	56,737	52,790	56,014
	比 率	64.4	69.5	69.0	67.7	68.1
就業実人員	293	291	256	249	259	
就 業 率	65.0	64.0	53.2	56.1	57.2	

※ 3 年度は目標金額の 79,200 千円を大きく上回り、新型コロナウイルス感染症がはびこる以前の実績にまで回復することができました。

3. 派遣事業実績

(単位：件・千円・%・人日)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
契約事業所	11	15	15	15	18
契 約 金 額	9,887	12,266	14,926	15,377	17,457
就業延人日	2,466	3,270	3,924	3,929	4,572

※ 派遣事業は、前年度の契約金額を上回ったものの目標金額の 18,800 千円には到達することが出来ませんでした。コロナ禍による就業会員数の減少が一要因かと思われます。

新型コロナウイルスの感染予防対策

- ・ 避けよう！「密接」、「密閉」、「密集」
- ・ 手洗い
- ・ マスクがない場合は、ガーゼマスク・タオルなどで代用

家事支援委員会からお知らせ

委員長 森本 義人

少子高齢化と人口減少、核家族化の進行、さらに長期化する新型コロナ感染症予防対策による活動自粛等によって、地域における活動の継続が危惧されるとともに、高齢者の方々等の孤独・孤立や心身への影響が懸念されており、高齢社会の生活課題となっています。

高齢社会において、高齢者を支える層として期待できるのは高齢者層と言っても過言ではなく、シルバー人材センターの果たすべきその役割は、今後益々重要になってくるものと思われ

ます。シルバー人材センターでは、町からの受託事業として介護予防・日常生活支援総合事業、また、シルバー人材センターの独自事業として家事支援サービス事業を実施しています。

業務内容は、高齢者宅等を訪問しての掃除、洗濯、調理、買物などの生活支援を行うものです。

高齢者の方などが地域の中で、心豊かに穏やかに安心して暮らしていくためには、精神・身体

の両面からの質の高い福祉の提供が欠かせないものであり、その担い手として業務に携わって



生活支援従事者研修会

就業開拓委員会からお知らせ

委員長 宮本 太一

シルバー人材センターの受託事業、派遣事業について多くの事業者から発注をいただいでいます。ありがたいことです。

一時期、コロナ禍のため実績に減少がみられましたが、会員の皆さんが就業現場でよくがんばっておられるおかげで今年度は回復傾向が見られました。

しかし終息するかに見えた新型コロナが再び増加し第六波。そのために予定していた就業先訪問「就業開拓キャンペーン」も3年度は残念ながら自粛せざるを得ませんでした。

就業先の訪問は会員の就業状況を知る上でも現場の要望を知る上でも大切なことと考えています。

今年度こそイベントでの会員拡大のためのチラシ配布と並んで「就業開拓キャンペーン」ができますよう期待しています。

会員の技能向上を目指して、みかんの摘果や剪定についての講習会、刈払機の講習などは実施することができました。みかんの業務については例年、その季節には多くの発注があります。せっかくの発注に応えられない現状もありますので会員数の増加についても一層努力して行きたいと考えています。



就業写真



就業写真



植木剪定作業

学童委員会だより

学童委員 新谷 信子

シルバー人材センターが運営する学童保育事業も今年で19年目になるそうです。

学童「かなや」(鳥屋城小学校横)と学童「つばさ」(石垣小学校横)で、支援員18名が仕事をしています。

「学校の授業から解放された後の時間」である放課後… 子どもも保護者も安心して通える生活の場をつくり、家庭環境や発達・年齢の異なる子ども達一人ひとりを理解し、受け止めながら、ともに生活をつくっていく大変な仕事ではありますが、やりがいもあります。それは、その大変さに値するエネルギーを子ども達からもらっているからかもしれません。



それに、何と言っても一人ひとりの子どもは可愛いものです。

コロナ禍で子どもたちの生活も大きく変わってしまいました。

バス遠足や夏の集い・クリスマス会という大きなイベントはすべてなくなるか、最小限に行わなければならなくなりました。

夏休みはプール遊泳もできません。そんな中でも子ども達はたくましく、元気です。自分たちで遊びを創りあげたり工夫したりして、生活を豊かにしています。

こんな子ども達を支援しなければならない私はまだまだ未熟です。でも、先輩支援員がいろいろ教えてくれたりアドバイスをしてくれたりします。支援員全員で相談しながら、仕事を進めていきます。わからないことは聞きながら、そして自分なりに思考錯誤をしながら、週に二回ほど勤務しています。仕事以外でも先輩達と随分仲よくなり、いろいろな話もできるようになり充実しています。男性支援員も3名に増え、より明るい職場になりました。子ども達に刺激をもらい、まだまだ元気でいたいというみなさん、一緒に力を合わせ、シルバー人材センターの学童保育を盛りあげていきませんか。お待ちしております。

総務委員会活動について

委員長 笠松 正

総務委員会では、会員皆様が「安全で安心して就労」できるように他の委員会と連携を図りながら運営に努めています。

新型コロナウイルス感染症が拡大、縮小を繰り返しているなかで、令和3年度の事業実績については、目標の数値を達成することが出来ました。これもひとえに、会員皆様方のご尽力の賜物と感謝しております。

会員の拡大運動については、前年同様高齢化等による退会者も多く、目標の人数には及びませんでした。

また、作業中の事故については、前年度より少し増加をしましたが、ちょっとした不注意による物損事故が主で人身事故も軽微な事故で済みました。

今後は作業前の注意事項等の説明などに重点を置き、発生件数ゼロを目指して安全・適正就業に努めます。

令和4年度も当センターを取り巻く環境は厳しくなると思いますが、「安全・適正就業・会員の拡大運動・事業計画の達成」に向け、役職員一丸となって取り組まますので会員の皆様のご協力をお願い致します。

会員さん撮影の
四季の彩り
風景写真コーナー



笹本教導 氏撮影

撮影場所：有田川町生石（夏）

題名：夏の高原

コメント：涼を求め生石山へ上ると入道雲と家族連れが来ており、いい景色が撮れました。



一ツ田友也 氏撮影

撮影場所：有田川町鷺ヶ峰（秋）

題名：コスモスパークからの夜景

コメント：沈みかけの月と天の川が彩を添えてくれました。



匿名者 撮影

撮影場所：有田川町三田（冬）

題名：冬のあらぎ島（雪模様）

コメント：我が家でもうっすらと雪が積もっていたので、清水方面へ車を走らせ、綺麗な雪化粧のあらぎ島が撮影出来ました。



片山政己 氏撮影

撮影場所：旧田殿駅（春）

題名：ポッポ道の春

コメント：絵本作家 長谷川義史さんのなんとも言えないかわい絵と桜の花が見事で思わずシャッターを押しました。



新家益代 氏撮影

撮影場所：伊都郡かつらぎ町三谷（秋）

題名：好日

コメント：御神木の太銀杏は息をのむ美しさでワンちゃんもご機嫌でした。

シルバーで感動の体験!!

シルバーを終えて 金屋地区 林 あけみ

シルバーにお世話になって早や十三年、色々ありました。有田川町のあんな所、こんな所、色んな所に連れて行ってもらいました。お昼に皆んなと一緒におべんとうを食べた事、雷が鳴ってきて怖かった事、猪が出て来た事、雪が降って来て周りが真っ白になった事、色んな事がありました。

仕事を終えて帰りに車の窓から山の景色を眺めながら今日も一日頑張ったなあーと思いつつ帰った事。

振り返ってみると、良い思い出になっています。この事はシルバーに入っていないとわからなかったと思います。本当にありがとうございました。



生きがいを求めて 金屋地区 鍛地 秀和



1939年生まれの83歳になります。昨年、有吉佐和子の「有田川」に出演することになり、寺の住職役で出ました。

「千代」役の小学2年生の生徒と共演し、いい思い出になりました。

写真はその時の練習風景です。

さて、今年は4月から西ヶ峯区の区長をつとめることになり、忙しい年になりそうです。ばけ防止と思い、ユーキャンの古文書入門講座と英会話講座に挑戦しようと申し込み、最近教材が届いたので毎日がんばっている所です。

昔の「贅沢」・今の「贅沢」 吉備地区 柏田 栄二

今から約六十年前、転勤で五年間程東京に住んで居た時のことです。

新宿区下落合の小高い丘陵にある四階建ての家族寮で、家族四人儉ましく暮らしていました。

冬のよく晴れた朝には遙か彼方に、真っ白に雪化粧した美しい「富士山」を眺め、家族で「朝食を」夜には「不夜城」の如くきらびやかな新宿のネオン街を、間近に見ながらの「夕食」と、最高の「贅沢」を味わいました。

時は移り、今は老体に鞭打ち乍ら、四季折々の野菜づくりを楽しんで居ます。自分で育てた新鮮な野菜を家族と一緒に食べられると言う事は、最高の「贅沢」であると「自負」して居る今日この頃です。 元気！元気！



なんとなく幸せな夫婦より 清水地区 徳村 信一郎・千津子

人生70余年、さて思い出といわれましても、少年時代、青年時代、いろんなことがありすぎて上手くまとめることができません。それでは和歌山に移住したきっかけを書きます。

私たちは今から35年前に北九州から大阪に仕事の関係で出張で来ました。当時は、大阪は景気が良く、そのまま大阪に居つき10年20年と夫婦で頑張りました。そして65歳でリタイアしましたが、よく夫婦で犬を連れてドライブで和歌山に来ていました。

こんな所に住めたら良いなあーと思っているとき、空き家バンクで今の家を見つけ、すぐに気に入って購入し移住しました。

そしてシルバーの会員になりました。

仕事が有るときは山を下りて仕事に行っています。職場ではシルバーの仲間たちに仲良くしていただき女房も大変よろこんでいます。



まだまだ元気なうちは、仲間作りに身体作りに頑張る所存です。

会員の広場 就業体験記

プラでお世話になって 金屋地区 古田 万里子

プラスチック選別作業場でお世話になって約二年半くらいでしょうか。きっかけは、実家の一人暮らしの母に、少しでも応援出来たらと始めました。その必要はなかったのですが、続けてよかったことは、以前は腕が痛くて上がらなかったのが、今ではうそみたいです。運動にもなって一石二鳥。

母は、私の体調がよくないのを心配してくれていたから、そう仕向けてくれたのかも知れません。うちは自営業ですが、無理のない範囲で、ちょっと違うことやって見るのも刺激になるし、メリハリもつくのかと思います。(主人はあまりイヤ顔しないけど…) 皆さんと休憩の時の雑談も楽しいです。家に帰ると、猫が待っていてくれます。孫が猫アレルギーで、飼えないからと連れて来て三年くらいかな。最初なつかなかったけど、今はとってもカワイイです。二人と一匹、これからも楽しく暮らして行きたいです。



人生をエンジョイ 金屋地区 竹本 和泰

シルバー人材センターの設立も旧金屋町の時から二十数年になる。当時私は、役場福祉課に在籍しており、設立のため初代会長の数田さんや有志の方々、先進地の市町へ研修に訪れたのを懐かしく思い出す。

設立後始めは小規模な活動も、その後旧三町の合併で会員数や活動状況も大きくなり、充実されて来ている。会員は、永年各職種に携わり、豊富な知識と経験を有する方々であります。各職域間での交流が少なかったのではと思う。

第二の人生を歩むそれの方が一緒に集い、作業等を行う事でお互い親密になり人生が豊かになるのではないのでしょうか。

私も、退職後数年は草刈り等作業に従事させて頂きましたが、今は同好会のゴルフやグラウンドゴルフに参加し楽しんでいる。



誘ってくれて感謝 清水地区 谷口 興孝

私は、知人からの誘いがあり何気なく入会しました。今は、良く誘ってくれたと感謝しています。主に、草刈作業をやらせてもらっていますが、私の都合に合う日程の仕事を紹介いただけるのでありがたいです。そして、作業は気の合う会員さんと一緒にうれしいです。

私は、空き時間を使って引き受けた仕事をやり遂げる。発注者はそれを喜んでくれる。そして私はその対価を頂き、達成感、充実感を味わうことができます。ありがたいことです。

先ずは、安全第一を心掛けこれからも作業に従事できたらと思います。



仲間作りの大切さ 吉備地区 楠木 利世子

私は9年前に無事60歳で定年退職をいたしました。どの様に時間を過ごそうかと思っていたところ、友人の進めでシルバー人材センターへの登録をさせてもらいました。シルバーからの斡旋があれば自分に合った仕事に行かせてもらい、そこで又知らない方とのつながりができ、友達の輪が広がり働けることに感謝しております。

退職前から有田川町のふれあい農園の第1期生として申し込みをして今現在続いています。農業はまったく何も知らず、土作りから季節の野菜の種まきやら教えていただき、自分の手で育てた農作物を収穫し、家族・友人にもらっていたいただき喜んでくれるのが一番嬉しいです。

そしてふれあい農園では同年齢の方がいますので、情報交換やお茶を飲みながら雑談する仲間があり、ストレス発散の場所が一番楽しいです。

いつまで出来るかわかりませんが健康で日々楽しい一日を過ごせる様、頑張りたいと思っています。



まだまだチャレンジしています



小さな花壇 田和久則(金屋地区)

三年前より仕事をセーブし趣味のドライブを始めました。暇を見つけては、各地を楽しく回っていたのですが、この二年は、コロナウイルス感染拡大の為、自由に外出が出来なくなりました。今は自宅に居る時間が多くなり以前より草花が好きなので、四季折々の花を近所の方々にもらったりして咲かせています。花の手入れをしている時、散歩をしている方に『花を見るのを楽しみにしちゃんやで』と声をかけてもらい、ほんの小さな花壇ですが、進行く方が気にとめている事やうれしく思います。

これからは新しい花にチャレンジしたいなと思っています。

一つの楽しみをみつめました 南 順子(吉備地区)



先日、久しぶりにアレックに行きました。その時に「小さなかわいい家を見つけて入ってみたい。絵本をかわいい部屋にきれいに並べてくれていました。何冊か借りました。ページをめくり飛び込んでくる絵とおはなしの内容などゆっくと楽しみました。心が温かくほのぼのとしたり、思いもよらない展開にびっぴりしたり、考えさせられたりというのでした。子供が小さい時はよく読み聞かせをして、子供たちと楽しんでた私ですが、今は自分を楽しませています。友人にもそのことを話し、一緒に読んでもらったり、感じたことなどを話して花を咲かせています。ちょっと楽しんでいます。これからも、ちょっとした楽しみを探してみようかと思っています。

かわいい小物たちに囲まれて 阪中貞子(清水地区)



シルバー会員として十年余り経過し、以前は、学童保育、障子張り、柚子の皮刺さ等させて戴きました。今は家事支援にチャレンジしています。最初は不安で一杯でしたが、利用者さんとコミュニケーションが取れ「いつも来てくれて嬉しいよ」の言葉が活力となり、やりがいを感じています。

また、プライベートでは絵を描く事や、着物のリメイク、それらと共に小物など部屋に飾る事が大好きです。友達からもかわいい小物など頂いて部屋は賑やかです。そして、この部屋でおしゃべりするのが大好きです。これからも、かわいい小物たちに囲まれて友達とおしゃべりしながら楽しい日々を過ごしていきたいと思っています。

私もがんばるぞ！ 栗山桂子(吉備地区)

私の趣味は野菜作りです。食いしん坊の私がプチ自慢できる野菜が、「スイカ」と「さつまいも」です。我流で作っていたスイカは、昨年苗屋さんと話を聞いたおかげで、だ円形の巨大な甘い物がいくつもでき、スイカ好きの夫を大喜びさせました。さつまいもはしっかりとした安納芋を中心に育て、焼きいも、天ぷら、いもご飯、ジャムとおいしく食べています。これは家族全員の好物で、秋からは毎日食卓に上がります。

有機栽培が中心なので、害虫や雑草、時には害獣との闘いがありますが、アレックで借りてきた野菜作りの本と首つ引きで、知恵を絞ります。不器用で見ればは悪くても、自作の味は格別で「がんばったね」「と野菜と自分をほめてあげたいです。

退職後、変化のない日常の中で、日々成長していく野菜の姿に心を癒され、何より、元気に働ける幸せを感じています。私もがんばるぞ！

シルバー同好会だより

平成 23 年度よりスタートした「シルバー同好会」は、早や 12 年目を迎えました。趣味を通じて会員相互の親

睦を図りながら、健康と生きがいと仲間づくりを目的として活動を行っています。

同好会には、グラウンドゴルフ・ゴルフ・手芸・カラオケ・野菜づくりの 5 部がありますが、「新たな部」発足のために関係者が奮闘されています。

今年度の活動状況は、新型コロナウイルスの関係で各部活動を自粛した中で、手芸部とゴルフ部が、コロナウイルス感染防止対策を講じて活動しました。

趣味を通じて交流の輪を広げませんか。入部をお待ちしています。

令和 3 年度活動実績

部	部員数	活動状況	参加人数
ゴルフ部	32 名	4 月、11 月ゴルフコンペの実施	延 39 人
手芸部	9 名	毎月 1 回 (第 1 火曜) シルバー会議室	延 55 人
野菜づくり部	16 名	季節ごとの「野菜苗」を紹介しています	延 16 人
カラオケ部	20 名	コロナウイルス感染症により、活動を自粛しました	
グラウンドゴルフ部	44 名	コロナウイルス感染症により、活動を自粛しました	

(参考) 平成 23 年度スタートから令和 3 年度までの各部の活動実績は、延 2,185 人の参加となっています。



趣味を生かして
楽しませませんか?

編み物教室だより

月 1 回、「第 1 火曜日 (変わる事もあります) 午後 1 時から 4 時まで」、シルバー人材センター事務所の隣の部屋で活動しています。

本に掲載されている服、カバン、帽子等、自分の編みたい物を、長裕陽子先生に教えていただきながら編んでいます。編みながら談笑したり、他の人が編んだ物を見せてもらったりして、少人数ですがとても楽しい教室です。興味のある方は是非見学にお越しください。

各部で入部をお待ちしています! 窓口: シルバー事務所 (52-4567)

寅年うまれの会員さん紹介

五黄の寅に! 願いを込めて! 吉備地区 上東 俊衛



私、寅年生まれ昭和 25 年 4 月 12 日で、72 歳になります。
シルバー人材センターにお世話になって、今年の 7 月末で 3 年になります。
当初は、いろんな仕事 (みかん採り、摘果等) をやらせて頂きましたが、今は主に除草 (草刈) 作業に従事させて頂いております。

近年、特に山間における過疎化だけでなく、農業就業者の高齢化が進み廃園農地が増加する中、シルバー人材センターへの依頼内容も、空き家になった家屋周辺および廃園地の除草作業が大部分を占めるようになってつづきます。これからまだまだ増えるように思います。ですから私自身も依頼された作業 (除草、草刈等) に従事できるよう健康管理に特に気をつけながら頑張りたいと思っています。

孫 (高 1、中 1) にも小遣いをあげたいし、元気で 70 代を生きたいです。又、山間にある野菜畑でいろんなものを作るのが楽しみです。

ボケ防止になるで!

「仕事でシャキッとスッキリと」 清水地区 宅間 眞子



私は今年 7 回目の寅年を迎えた年女です。
平成 18 年から清水会館と清水保健センターのお掃除をしています。
お受けして 15 年が経ちますが朝起きてお仕事があると気持ちシャキッとしますし、お掃除して綺麗になると気分もスッキリします。そして、お仕事が終われば大好きなお花の世話やグラウンドゴルフを楽しんでいます。
また、コロナ禍で中止となっていた脳トレや編み物教室、百歳体操も再開されこちらも楽しく参加しています。
これからも健康に気を付けて元気に過ごしていきたいです。

みそぎ研修へ参加して 広報委員 (金屋地区) 向林 義郎



幕末から明治維新の激動の時代を、高い志を持って未来を切り開いた実業家 (昨年大河ドラマで放映された)、渋沢栄一も後援したその一人、修養団は伊勢神宮域に隣接し、清浄な環境に「神都国民道場」を開いている。現在も 18 歳以上の社会人を対象に精神を養成するために皇大神宮前の五十鈴川でみそぎ研修を行っている。私も 20 歳代に参加させて頂き強烈な印象が今でも脳裏から離れません。

参加の服装は白シャツ、白ズボン、運動靴で、忘れていた日本人の心と、人間の活力の素晴らしさを呼び覚ます研修である。愛と奉仕の心を大切に、潤いのある家庭や地域社会、職場を作っていくとする修養団の『愛汗精神!』愛と汗の実践! を基本理念として進めているのである。

自己を見つめ、新たに自分を発見修練する場であり、参加は 3 泊 4 日であった。3 種類の行 (含む禊)、国旗掲揚、ラジオ体操、内宮参拝、講話 (神話と歴史) や体験学習、清掃作業などを通して心を磨く 4 日間を過ごしたのである。現在でも研修の中で、脳裏に深く残っているのが禊であり、寒い冬の夜 9 時、白装束に身を固め五十鈴川の河原で肩までつかり、黒々と前にそびえる神宮の森に向けて合掌し、リーダーに合わせて全員で声を張り上げた。

明治天皇の和歌にもあるように「五十鈴川清き流れの未汲みて、心を洗え秋津島人」と唱えるのである。要は魂と規律の両方が得られ、自己に内在する生命を活性化させ、ひいてはやる気を起こさせる研修でありました。

今日の自分の礎になっているのではないかと、忘れ得難い貴重な体験を有難く思っている所です。

事務局だより

シルバー会員の皆様へ！

下記の職種について就業会員を募集しています。
興味のある方は、事務局までご連絡下さい。

- ・除草作業（草刈り、草引き等）
- ・剪定作業（垣根や庭木の剪定等）
- ・柑橘関連作業（みかんの収穫、みかんの剪定、みかんの摘果等）
- ・介護補助（介護施設での作業等）
- ・家事支援（高齢者宅への訪問、家事作業、病院への付添い等）
- ・伐採作業（チェーンソー使用）
- ・育児支援（学童施設での保育等）
- ・清掃作業（公共施設や一般家庭での清掃）



チエブクロー

また、就業に対する希望についてもお聞かせ下さい。
「こんな仕事がないか?」「こんな仕事なら出来るよ!」

事務局では会員の皆様に就業の提案をさせて頂いていますが、希望する職種と一致する事が少なく、多くが就業に結びついていないのが現状です。
そこで、会員の皆様から希望する職種の要望をお聞かせいただきたいと思いますので、事務局までご連絡下さい。お待ちしております。

連絡先：52-4567

みんなの力で会員を増やしましょう。
新規入会希望の方を紹介して下さい。

令和4年度は、
会員数481名以上を目指します!

ご家族、ご近所、お友達等、お知り合いの方で
シルバー人材センターに興味をお持ちの方がおられ
ましたら、是非ご紹介下さい。



◆ 編集後記 ◆

第16号“シルバーありだ川”発行につきましては、皆様のご協力有難うございました。
特に、掲載記事の原稿を提供していただいた会員の皆様に厚く御礼申し上げます。
数年続いておりますコロナウイルスの感染拡大により、委員会も同好会もあまり活動
出来ずに日々が過ぎていきます。

皆様に読んで頂く広報誌を引き続き魅力ある冊子にしていきますので、どうかよろしく
お願いします。